

令和4年度入学（一般選抜 後期日程）試験問題の出典

社会福祉学部

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	—	長谷川 和夫・ 猪熊 律子	ボクはやっと認知症のこ とがわかった——自らも 認知症になった専門医が、 日本人に伝えたい遺言	KADOKAWA, 2019年, pp.29-37より, 一部改変	KADOKAWA

令和4年度 一般選抜・後期

## 社会福祉学部

# 小論文 (90分)

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、2ページあります。なお、下書き用紙が2枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆(シャープペンシルも可)で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の文章は、認知症を研究し、その後認知症と診断された元専門医によって書かれたものである。  
この文章を読み、あとの問いに答えなさい。

この部分の問題は、著作権の関係により公開できません。

この部分の問題は、著作権の関係により公開できません。

問 1 著者自身が認知症であることを公表した理由について 130 字以上 150 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部「認知症になり、『何もかもわからなくなる』ことへの恐怖心はそうとう強いものがあります」というような状況にいる人に対して、その恐怖心を軽減しつつ生活できるようにするにはどうしたらよいか。本文の内容を踏まえ、かつ理由を示したうえで、あなたの考えを 600 字以上 800 字以内で述べなさい。